

重点「道の駅」の選定について ～地方創生の核となる「道の駅」を重点的に支援します～

「道の駅」は、平成5年の制度創設以来、現在では全国で1040箇所に広がり、地元の名物や観光資源を活かして、多くの人々を迎え、地域の雇用創出や経済の活性化、住民サービスの向上にも貢献しています。

国土交通省では、この「道の駅」を経済の好循環を地方に行き渡らせる成長戦略の強力なツールと位置づけ、関係機関と連携して特に優れた取組を選定し、重点的に応援する取組を実施します。

今般、四国地方整備局管内における重点「道の駅」として、以下の通り決定しましたので、お知らせします。

1. 選定結果（四国）

- | | | |
|-------------|-----|-----|
| ○全国モデル「道の駅」 | 選定数 | 1箇所 |
| ○重点「道の駅」 | 選定数 | 3箇所 |
| ○重点「道の駅」候補 | 選定数 | 2箇所 |

※選定対象の詳細は別添資料のとおりです。

2. その他

- 後日、認定証を交付する場を開催する予定です（別途お知らせします）。

国土交通省 四国地方整備局

※本施策は、四国広域地方計画「NO. 5 圏域の連携による発展に向けた地域力向上プロジェクト」に該当します。

【問い合わせ先】

国土交通省 四国地方整備局 TEL：087-851-8061（代表）

道路部 ○道路計画課長 藤浪 武志（内線4211）
道路管理課長 兵頭 英人（内線4411）

○：主な問い合わせ先

※同時記者発表 高松サポート記者クラブ／徳島県政記者クラブ／
愛媛番町記者クラブ／高知県政記者クラブ

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



重点「道の駅」に想定される機能

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能

地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進

外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM 等

地方移住等の促進

地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供 等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興

地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上

診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能

広域支援の後方支援拠点、防災教育 等



全国モデル「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に
発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、
さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援
で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、
関係機関が連携し、重点支援

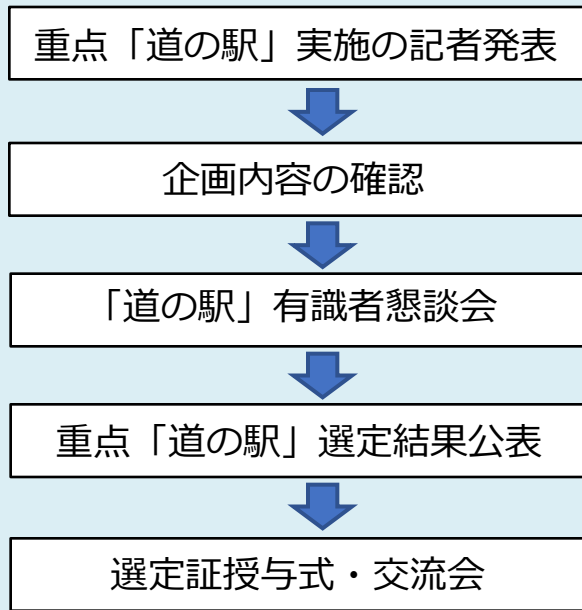
重点「道の駅」候補

地方整備局長等選定

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的
な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

(選定の流れ)



「道の駅」有識者懇談会

委員長：石田 東生 〔筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授〕

楓 千里 〔JTBパブリッシング執行役員 ソリューション事業本部副本部長〕

篠原 靖 〔跡見学園女子大学 マネジメント学部准教授〕

山田 知子 〔比治山大学現代文化学部教授〕

(敬称略・五十音順)

(参考資料)

「道の駅」の目的と機能

「道の駅」の目的

- ・ 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- ・ 地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

休憩機能

- ・ 24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ

情報発信機能

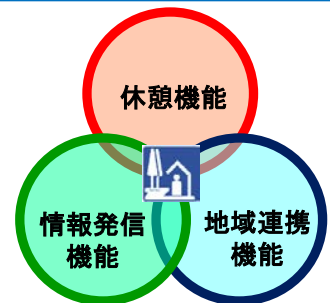
- ・ 道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供

地域連携機能

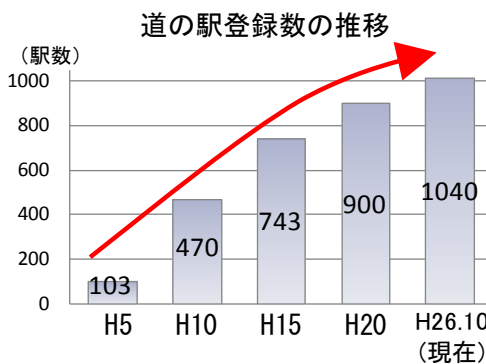
- ・ 文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト

地域とともに作る
個性豊かな
にぎわいの場



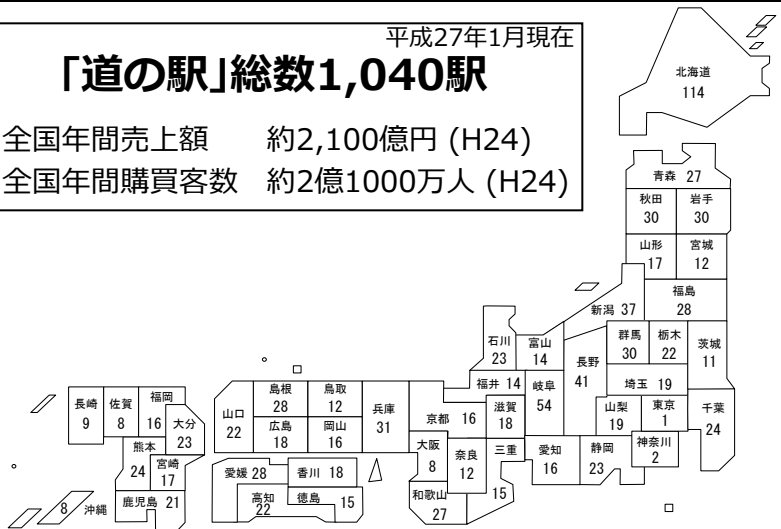
「道の駅」登録数



「道の駅」総数1,040駅

平成27年1月現在

- ・ 全国年間売上額 約2,100億円 (H24)
- ・ 全国年間購買客数 約2億1000万人 (H24)



全国モデル「道の駅」

都道府県	市町村	設置年度	駅名	主な特長
愛媛県	内子町	H8	内子フレッシュパークからり	生産者自らが運営に携わり、特産品を活かした加工食品の開発販売等、約60名の雇用を創出。

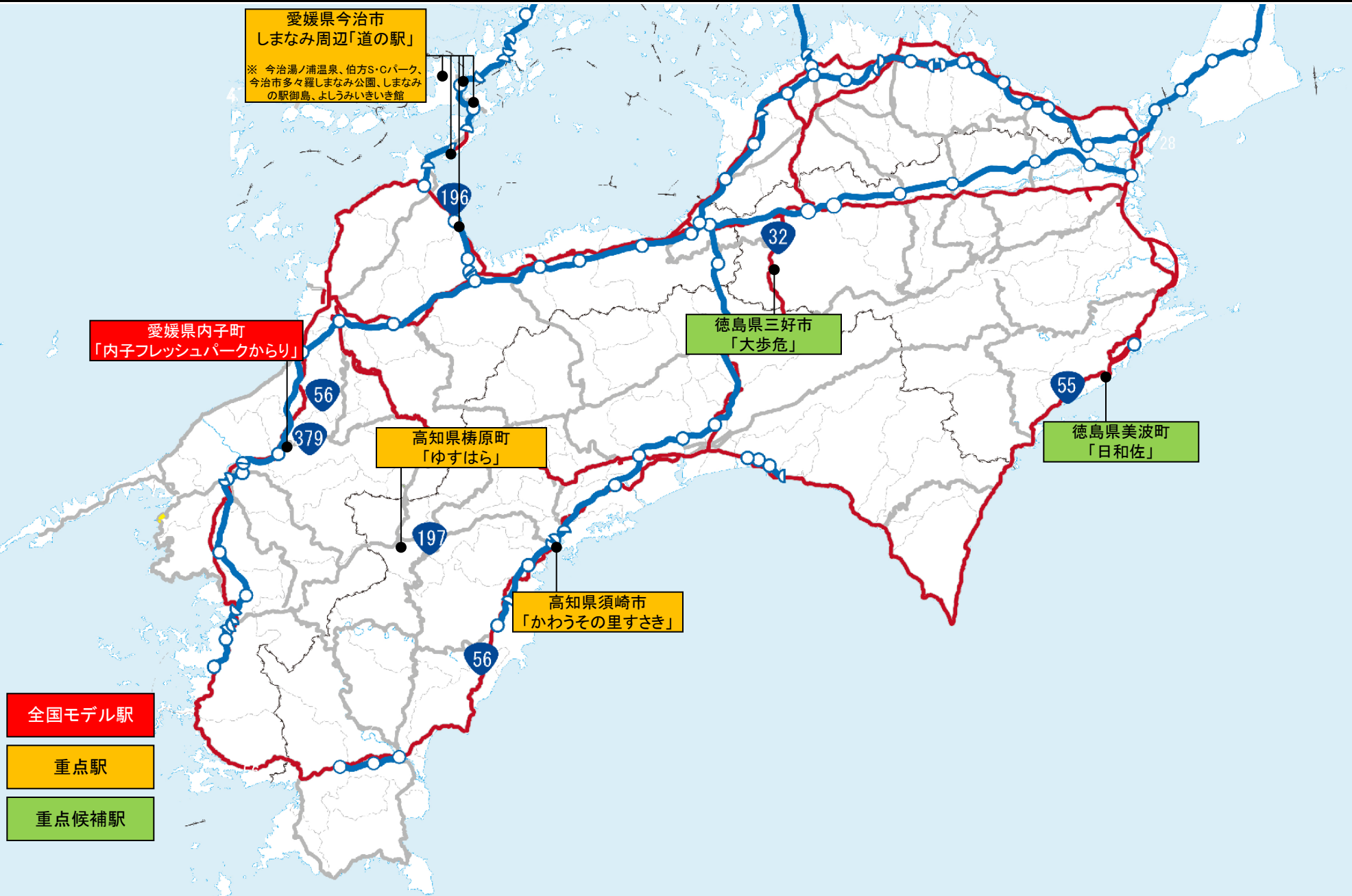
重点「道の駅」

都道府県	市町村	駅名	主な特長
愛媛県	今治市	しまなみ海道周辺「道の駅」 ※ 今治湯ノ浦温泉、伯方S・Cパーク、今治市多々羅しまなみ公園、しまなみの駅御島、よしうみいきいき館	サイクリストをはじめとした国内外の観光客を地域の周辺観光へ呼び込む
高知県	梼原町	ゆすはら	「ゆすはらまるごとクリニック」構想の拠点施設とし健康増進を図る
	須崎市	かわうその里すさき	津波避難タワー等を新設し地域防災拠点として防災機能強化

重点「道の駅」候補

都道府県	市町村	駅名	主な特長
徳島県	美波町	日和佐	外国人にも対応した観光案内所を設置するとともに、道の駅の出張所機能を持った「サテライトステーション」を配置
	三好市	大歩危	「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」のゲートウェイとして外国人対応可能な人材育成、観光案内所の機能付加、周辺観光の情報発信

四国地方整備局管内の重点「道の駅」位置図



- 地元農家の女性達を中心となり、販売額は約7億円、町の農産生産額の15%を占め、新たに58名の雇用を創出。
- 運営も生産者自らが手作りで、商品開発、品質管理、イベント企画運営までを実施。特に、商品開発は、女性で構成される複数のチームで独自商品を開発するなど、女性主役の運営も特長。出荷農家は、当初から約2倍に(176人→394人)
- 販売管理システムやトレーサビリティを導入し、16年間で利用者は6倍、販売額は8倍に増加。

年間利用者：約80万人 販売額：約7億円 雇用：58名

道の駅「内子フレッシュパークからり」

愛媛県内子町

人口 約1万8千人
面積 約300km²

国道379号(単独型)



季節の農作物にあわせて加工商品を開発販売。
内子町内の農産物販売額の約15%を売り上げる拠点に発展

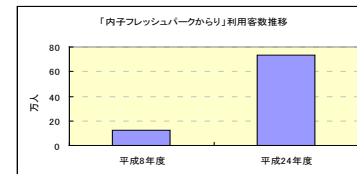
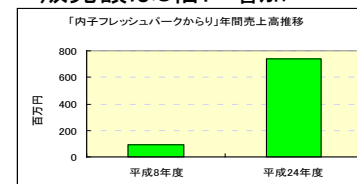


道の駅の企画・運営を支える生産者チーム

地場産品を「からりブランド」商品として販売



16年間で利用者は6倍、販売額は8倍に増加



ITを導入して鮮度を追求することで、安全安心な農産物提供システムを構築

- 出荷する地場農産物にトレーサビリティやPOSシステムを導入。販売情報が連絡され、在庫に合わせて出荷者が直接納品することで鮮度向上を追求



栽培履歴情報検索 (生産者・栽培情報はもとより農薬・肥料まで)



出荷者へ販売状況や必要農作物を随時配信

- 瀬戸内しまなみ海道周辺は観光資源が豊富にも関わらず、四国の入口として通過され**地域の周遊観光へと波及していない**
- 周辺の道の駅が連携し、「瀬戸内しまなみ海道」のサイクリングコースや急流観潮船、海鮮バーベキューなど独自の観光資源の魅力を一体的に情報発信することで、**サイクリストをはじめとした国内外の観光客を地域の周遊観光へと呼び込む環境を構築**
- 道の駅に外国人観光案内所や免税店を設置することで、**外国人観光客の受け入れ体制を構築**

<地方創生拠点としての機能> ゲートウェイ型

インバウンド観光 海外へのしまなみ観光メッセージ	観光総合窓口 四国・しまなみのゲートウェイ	地方移住等促進 ふるさと納税等 地域情報発信	産業振興 地域ブランドの情報発信
-----------------------------	--------------------------	---------------------------	---------------------

「道の駅」の連携イベントにより周遊観光を促進



地元オリジナル商品・スタンプラリー



意見交換会の様子

平成25年度からは「道の駅連携プロジェクト」として5つの道の駅と今治市、愛媛県、松山河川国道事務所、地元大学等の産官学の関係者により**地域活性化に向けた意見交換会**を実施し、**周遊型イベントの企画・開催、観光マップ**を作成。

<提案の先駆性・ポイント>

- しまなみ海道のサイクリングロードは、世界の7つのすばらしいサイクリングロードの一つに選ばれる(※)など、サイクリストの聖地として国内外への認知度が上昇。外国人観光客の増加と合わせ5つの道の駅全てに外国人案内所等の整備により外国人の受け入れ体制を構築。※米国のCNN旅行情報サイト
- 「道の駅」が一体的に受け入れ体制を構築できるよう、平成25年度から産官学の関係者で意見交換会を開催。連携策や周遊観光方策等について議論。



サイクリストの聖地として国内外のサイクリストを誘致



サイクリング世界大会
「サイクリングしまなみ」の様子
H26.10.26開催



多言語の注意喚起看板

5つの「道の駅」が連携して地域の魅力を情報発信



急流観潮船



海鮮バーベキュー



造船のまち



しまなみ海道周辺の観光マップ

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
湯ノ浦温泉	愛媛県	今治市	国道196号	既設	平成10年	一体型
伯方	愛媛県	今治市	国道317号	既設	平成11年	単独型
多々羅	愛媛県	今治市	国道317号	既設	平成11年	単独型
御島	愛媛県	今治市	(主)大三島上浦線	既設	平成11年	単独型
ようみ	愛媛県	今治市	国道317号	既設	平成14年	単独型

※「道の駅」名は略称
※新たに「今治市サイクリングターミナル(サンライズ糸山)」も道の駅申請予定

<実施内容>

- 外国人観光案内所及び免税店の設置
- 平成27年度観光地域おこし協力隊を募集し、各道の駅を重要ポイントと位置付け、観光PR及び海外サイクリストへの情報発信を実施
- 今治市サイクリングターミナル(サンライズ糸山)周辺を自転車に特化した「道の駅」として新たに整備を検討。(トイレ、駐車場、自転車整備ヤード、自転車格納庫、インフォメーションコーナーなど)
- 加工所の拡充、積極的な情報発信等による商品のブランド化。
- 地元産品を活用したスイーツラリー、オリジナル商品ラリーなどを展開
- インターンの受入・ふるさと納税等の情報提供

- 梶原町は、高齢化が非常に進んでおり、**地域福祉の充実、若者の移住促進や雇用の創出が重要な課題**
- 道の駅を地域の自然を活用し健康増進を図る『ゆすはらまるごとクリニック』構想の拠点施設と位置付け、森林浴や温泉、スポーツを通し健康を再生
- 道の駅において**空き家や雇用情報を一元的に提供し若者の移住を促進**、さらに道の駅の直売所を増設し地域産業を育成するとともに地域の観光窓口として地域の観光名所や宿泊予約、体験ツアーの紹介を行うことで**地域の観光産業を発展、雇用を創出**

<地方創生拠点としての機能>
地域センター型

地域振興
地域資源の活用(人・物・環境)

地域福祉
するはら丸ごとクリニック


観光総合案内
梶原全域のゲートウェイ

移住定住等促進
移住定住情報のワンストップ提供

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
ゆすはら	高知県	梶原町	国道197号	既設	平成5年	単独型

道の駅を活用した地域住民の健康増進対策
(「ゆすはらまるごとクリニック(※)」の拠点施設としての位置づけ)

◆太郎川公園(改修)
森林散策等を通した健康増進



セラピーロード
(散策路)

※『ゆすはらまるごとクリニック構想』
地域資源を活かし、地域施設が連携することで
地域の人が健康を再生し人と人との絆を深める
場を提供する取組

◆直売所・レストラン(増設)
新鮮な地元直産品を食べて健康増進



直売所(雲の上市場) 四万十川のアユ



◆プール・フィットネス施設(改修)
トレーニングによる基礎体力の増強



温水プール



フィットネス施設

◆雲の上ホテル・温泉施設(改修)
ホテルや温泉での休憩を通して体力回復



雲の上ホテル



温泉施設

福祉対策
道の駅での森林浴、温泉、
スポーツの場の提供



キャンプ場施設
(太郎川公園)

観光窓口
観光案内施設の設置、宿泊
予約の実施、無線LAN、EV充電



四国カルスト高原

移住支援
道の駅で一元的に空き家
情報や雇用情報を提供



農業体験の様子

雇用対策
直売所の増設、
道の駅での新たな雇用



四万十源流
棚田米



梶原町の名産
しいたげ



道の駅の施設計画の見直し・大規模改修を実施
(プロジェクトチームを構成、東京大学 隈研吾教授に検討依頼)

<提案の先駆性・ポイント>

- 高齢化率4.2%という極度の高齢化という地域の課題に対し、福祉・移住支援・産業育成の多面的な観点から地域の拠点として道の駅を活用。
- 地域の自然を活用し健康増進を図る「ゆすはらまるごとクリニック」構想の中心施設としてまちづくりと一帯となって道の駅を活用

<実施内容>

- 「ゆすはらまるごとクリニック」構想の拠点施設として森林浴やフィットネスなど健康再生施設を整備し総合的な福祉対策を実施
- 移住窓口として空き家や雇用情報を一元的に提供する総合案内所を整備
- 直売所の増設や域内の観光情報の提供により新たな雇用を創出
- 再生可能エネルギーを利用したEV充電器を整備するなど先進的な環境対策

- 須崎市は約30年間で人口が約2／3に減少するなど人口減少対策や地域産業の振興が急務
- 道の駅に移住相談や田舎暮らし体験ツアーの窓口を設置、空家情報・就労情報の提供を実施し都市部からの移住を促進
- 高速道路に直結した道の駅をまち全域や高幡地域(奥四万十)の観光総合窓口として多言語化に対応した観光案内所の設置や免税店の設置など案内機能を充実
- 地域防災計画への位置づけも視野にいれ、津波避難タワー等新設し地域の防災拠点として防災機能を強化

<地方創生拠点としての機能>
地域センター型

産業振興 地域ブランドの情報発信	防災 震災伝承・津波防災文化	観光総合窓口 高幡地域のゲートウェイ	地方移住等促進 都市部などからの移住定住を促進
---------------------	-------------------	-----------------------	----------------------------

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
かわうその里すさき	高知県	須崎市	国道56号	既設	平成10年	一体型

- ◆移住支援
 - ・空き家情報や就労情報の提供
 - ・田舎暮らし体験ツアー
- ◆ふるさと納税の情報提供



須崎市への移住を促すポスター

- ◆周辺施設の観光案内機能を充実
 - ・外国人用観光パンフ
 - ・免税店の併設
 - ・無線LAN、EV充電器
- ◆直売所の充実
 - ・新たな水産系直販所の増設



須崎市で地域ブランドとして売り出しているメジカやウツボ

- ◆道の駅を地域の防災拠点化
 - ・津波避難タワーを設置
 - ・自家発電用太陽光発電導入
 - ・非常食・毛布等の備蓄
 - ※地域防災計画への位置づけも検討中



津波避難タワー(イメージ)



- ◆津波避難タワーを新設
津波災害時に地域住民の一次避難が可能
※ビル構造とし平時は地域の文化財等を展示



- ◆防災パネル展の開催
道の駅において地域の人々の防災意識を高める防災パネル展を開催

<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅を窓口として地域の空き家情報や就労情報、ふるさと納税情報を提供し地域の人口減少対策として活用。
- 高速道路に直結した道の駅としてまち全域や高幡地域(奥四万十)への観光情報を一体的に提供し域内への周遊を促す。
- 立地条件を生かし、地域ブランドとして任期があるメジカ・ウツボを近隣の港から直送し販売、新たな流通販路を開拓
- 道の駅に津波避難タワーを併設するなど防災機能を強化

<実施内容>

- 移住支援窓口として移住相談や田舎暮らし体験ツアーの窓口を設置し、空き屋情報や・労情報を提供
- 地域の観光窓口として観光コンシェルジュを設置し、無線LANやEV充電設備も設置、地元須崎港で水揚げされる水産物を扱う直販所を新たに設置
- 地域の防災拠点施設として津波避難タワー等々を新設

- 美波町は、ウミガメ産卵地である大浜海岸を始め魅力的な観光資源があり、道の駅「日和佐」に観光客が集まる一方、周辺施設の入込客数が道の駅の10%以下であるなど、道の駅の集客効果が周辺地域に波及していない状況。
- 国道55号やJR日和佐駅に接続する道の駅「日和佐」に外国人にも対応した観光案内所を設置するとともに、「回遊」性や「滞在」性の向上といった道の駅の出張所機能を持った「サテライトステーション」を周辺施設に配置し、地域一帯を観光都市として再生。

<地方創生拠点としての機能>
ゲートウェイ型

総合観光窓口
道の駅サテライトステーション、観光案内所の充実、海外からの旅行者への「お接待」

● サテライトステーション
※箇所は検討中



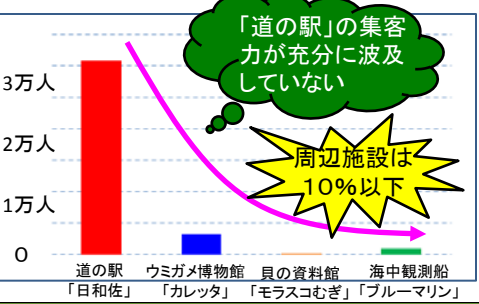
駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
日和佐	徳島県	美波町	国道55号	既設	平成16年	一体型

<課題解決の方法(周遊コースの一例)>



<地域の観光施設との連携により更に周辺観光地を活性化>

- <地域周辺の代表的な観光施設>
- ◆ 四国一の厄除け寺「薬王寺」
 - ◆ 国の天然記念物に指定されている「大浜海岸」
 - ◆ 年齢世界記録のウミガメを飼育するウミガメ博物館「カレッタ」
 - ◆ 室戸阿南国立公園を回遊できる海中観測船「ブルーマリン」等
- 「道の駅」と「サテライトステーション」が連携し域内の観光施設への周遊を促進



<道の駅の総合案内機能>

- ◆ 外国語対応可能な地域の総合案内所の整備
- ◆ 新設する「サテライトステーション」と連携し綿密な観光情報の提供・周遊イベント等を実施
- ◆ 鉄道駅に直結し観光客をスムーズに誘導
- ◆ 道の駅でのEV充電やレンタサイクルにより域内周遊を促進



<実施内容>

- 地域観光のゲートウェイ機能を備え、外国人にも対応できる観光案内の拠点
- 起業機会の創出や地域特産品のオリジナル商品開発・6次産業化の支援拠点
- 道の駅周辺の観光施設と連携し回遊型の周遊観光コースを設定、道の駅を目的とした旅行者を各施設へ誘導することで地域全体の活性化を図る。

- 外国人案内所の設置、UIターン起業者の支援、EV充電施設の設置、自転車ラック・休憩所の設置
- 周辺施設に道の駅の補完機能を持ったサテライトステーションの設置、道の駅とサテライトステーションをパッケージ化して情報発信、周遊観光コースの設定、サテライトステーションを巡るスタンプラリー、風景街道(南阿波サンライン)との連携

○H26年4月に観光庁の観光圏整備実施計画において、大歩危・西祖谷エリアが含まれる「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定、整備計画の目標達成に向け、道の駅の観光窓口機能を強化
 ○ミシュラングリーンガイド・ジャパンに紹介されている祖谷地区におけるH25年度の外国人観光客はH20年度の3.8倍に増加しており、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」のゲートウェイとして、外国人対応可能な人材育成、観光案内所の機能付加、周辺観光地の情報発信を実施

<地方創生拠点としての機能>
ゲートウェイ型

インバウンド観光
海外からの旅行者への「ご接待」

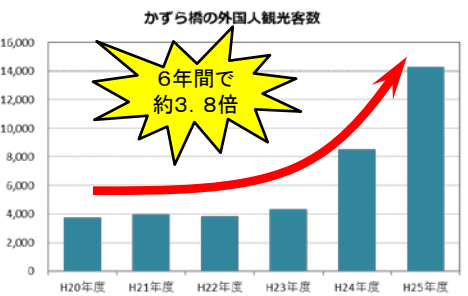
観光総合窓口
にし阿波～剣山・吉野川観光圏のゲートウェイ

防災
震災伝承・津波防災文化

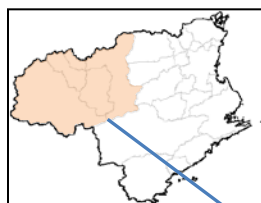
駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
大歩危	徳島県	三好市	国道32号	既設	平成20年	単独型

【日本の文化や原風景に興味を持つ外国人を誘致】

従来からの欧米豪市場に加えて、中国、台湾、韓国の定期便が就航し、利便性が高くなった高松空港等から訪日旅行に慣れた東アジアの観光客をターゲットに、急速に経済成長するアジアの観光需要を「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」へ取り込む。



◆ 簾庵(ちいおり)
築300年の古民家を東洋文化研究者のアレックス・カー氏が改修、宿として観光客を受け入れ。海外に向けて情報発信をしており、海外からの来訪者も多い。



高松空港 (中国・台湾・韓国定期便就航)

車・鉄道等で移動

JR池田駅

ミシュラングリーンガイド・ジャパンにおける紹介文

Oboke: "In the heart of the secluded Iya valley, the scenic Route 32 and railway line follow the River Yoshino, espousing a spectacular canyon as far as Oboke, 25km to the south of Awa Ikeda."

にし阿波～剣山・吉野川観光圏

大歩危のラフティング

大歩危・西祖谷エリア

祖谷のかずら橋

落合集落

平家屋敷

奥祖谷二重かずら橋

落合集落 (国指定重要伝統的建造物群保存地区)

祖谷のかずら橋 (国指定重要有形民俗文化財)

徳島

凡例

- 高速道路
- 国道
- 主要地方道・県道
- その他道路

<提案の先駆性・ポイント>

- 外国人にも対応できる観光案内の拠点の整備
- 地域の特産品等を免税販売
- 農業体験などが可能な滞在型プログラムや体験型教育旅行の受け入れ
- 公共交通を補完する小型モビリティの拠点

<実施内容>

- ・JNTO外国人案内所に登録し、多言語対応可能なスタッフを配置
- ・外国人観光客の購買意欲促進のための免税店を導入、外国クレジット対応ATM設置
- ・観光客用のサロンを設置、観光用周遊バス及び小型モビリティを配備
- ・駐車場の機能向上(案内標識の整備と誘導施設の整備)
- ・地域内道の駅に無料公衆無線LANの設置